

七尾産業技術専門校 中期経営目標
(実施期間 平成24年度～平成26年度)

平成24年3月 策定

1 施設の設置目的

「職業能力開発促進法」に基づき、新規学卒者及び離職者に対し、それぞれに応じた職業訓練を行い、時代のニーズにあった実践的技術・技能者を育成することにより、職業の安定と労働者の地位向上を図るとともに、地域産業界に寄与することを目的として設置しています。

2 施設の果たすべき役割

中能登地域における職業能力開発の拠点施設として、新規学卒者及び離職者の就職支援に向けた職業訓練を行っています。

3 事業内容

(1) 若年者訓練

概ね35歳以下の若年者を対象とした職業訓練及び就職支援を行っています。

- ・自動車整備科（2年訓練 定員30人）

2級自動車整備士を育成するための訓練を行っています。

（入校資格：高等学校卒業以上）

- ・計測制御技術科（1年訓練 定員10人）

生産現場等での作業の自動化及び省力化に対応できる計測制御技術者を育成するための訓練を行っています。（入校資格：高等学校卒業以上）

(2) 離職者訓練

再就職を目指す離職者を対象とした職業訓練及び再就職支援を行っています。

- ・住宅環境科（6ヶ月訓練 定員15人（年間30人））

下水等の外構工事や内装リフォーム等に必要な知識と技能習得のための訓練を行います。

4 現状と課題

(1) 若年者の支援について

①入校生の確保について

本校での訓練を希望する生徒を募集するため、毎年1～2回、普通高等学校を中心に訪問し勧誘を行っていますが、平成20年度以降、入校率の低下傾向がみられたため、生徒へのチラシ配布や在校生の協力による口コミなどPRを強化しており、平成23年度の入校率（定員充足率）は95%になっています。

今後も、県内企業へ優秀な若年人材を輩出するため、高校生に対し産業技術専門校の認知度を高めるとともに、訓練内容を良く知ってもらうことなどにより、入校生を確保する必要があります。

②就職支援について

訓練内容については、近年のハイブリッド車や電気自動車の普及にあわせ、自動車整備科で低圧電気特別教育を訓練に取り入れるなど見直しを行ってきたところです。今後とも、企業のニーズや社会の動向を考慮して、訓練内容の見直しを行う必要があります。

就職実績のある企業と連絡を取り求人の開拓を行っており、厳しい雇用情勢にあっても、多くの方が就職できていますが、引き続き、就職先の確保に努める必要があります。

(2) 離職者の支援について

近年、入校率は、リーマンショックの影響があったH21年は一時的に増加したものの、それを除いては減少傾向にあります。

訓練内容については、訓練期間修了後、企業での即戦力となれるように実践的な訓練を行っており、入校状況や企業ニーズ等を把握しながら、現在、現場で主流となっている作業方法を実習に取り入れるなどの訓練内容や科目の見直しを行い、効果的な訓練を行っています。

また、就職を支援するため、ハローワークと連携を密にし、求人情報を収集するとともに企業と連絡をとり求人の開拓をしています。

こうした取り組みや雇用環境の改善により、就職率は向上しており、厳しい雇用情勢にあっても、離職者が再就職できるよう、引き続き、取り組みを強化していきます。

(3) 施設運営の効率化について

施設運営の効率化に向け、積極的な節電（照明・冷暖房）をはじめとした維持管理の工夫に取り組んできたところであり、今後とも、経費の節減・効率化に努めていくこととしています。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標

- ①若年者入校率95%以上を維持します。
- ②若年者就職率を3年間で100%に向上させます。
- ③離職者就職率を3年間で95%以上に向上させます。

(2) 測定指標と目標値

測定指標	H22実績値	目標値(H26)
① 若年者入校率	95%	95%以上
② 若年者就職率	96%	100%
③ 離職者就職率	93%	95%以上

6 目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 若年者の支援について

①入校生確保の取組

- ・高校生等に産業技術専門校を知ってもらうために、訓練内容や就職先企業等を掲載した、わかりやすい内容の入校案内用パンフレット等を作成します。
- ・高校生等が産業技術専門校の訓練に、より興味が湧くよう新たに体験見学会を開催します。

②就職支援の取組

- ・企業ニーズに対応するため、企業訪問や聞き取りを行い、訓練内容及び科目の見直しを行います。
- ・訓練生に対して、訓練の理解度や習熟度の向上に向けたアンケートを実施し、訓練内容の充実を図ります。
- ・就職実績のある企業に加え、新規の求人開拓を強化するとともに、訓練生の適性や雇用情勢を鑑みたアドバイスを実施するなど、今後とも、きめ細かな就職支援を行います。

(2) 離職者の支援について

- ・訓練生に対して、訓練の理解度や習熟度の向上に向けたアンケートを実施し、訓練内容の充実を図ります。
- ・ハローワークへの就職斡旋協力の要請や、企業からの求人の開拓を引き続き実施します。
- ・訓練生の適性や雇用情勢を鑑みたアドバイスの実施など、今後ともきめ細かな就職支援を行います。

参考資料

1 施設の利用状況

利用指標（利用人数、稼働率などの状況）

①若年者訓練

指標	H 2 0	H 2 1	H 2 2
若年者入校率	85.0%	82.5%	95.0%
自動車整備科	83.3%	80.0%	103.3%
計測制御技術科	90.0%	90.0%	70.0%
入校者数	34人	33人	38人
自動車整備科	25人	24人	31人
計測制御技術科	9人	9人	7人
応募倍率	0.90	0.88	1.03
自動車整備科	0.90	0.87	1.13
計測制御技術科	0.90	0.90	0.70
就職率	81.1%	100.0%	96.0%
自動車整備科	85.7%	100.0%	95.2%
計測制御技術科	66.7%	100.0%	100.0%

②離職者訓練

指標	H 2 0	H 2 1	H 2 2
離職者入校率	60.0%	100.0%	53.3%
入校者数	18人	30人	16人
応募倍率	0.60	1.13	0.70
就職率	70.6%	86.2%	93.3%

2 収支の状況（単位：千円）

		H 2 0 決算	H 2 1 決算	H 2 2 決算	H 2 3 予算
歳出	運営費	21,729	23,025	21,251	22,906
	職員費	76,242	70,640	65,778	70,218
	計	97,971	93,665	87,029	93,124
歳入	国庫	20,664	21,800	21,408	21,623
	一般財源	75,608	70,030	63,961	69,156
	その他	1,699	1,835	1,660	2,336
	計	97,971	93,665	87,029	93,124

3 利用者1人あたりの一般財源投入額

	H 2 0	H 2 1	H 2 2	備考
一般財源投入額 ①	75,608 千円	70,030 千円	63,961 千円	
利用者数 ②	80 人 (28 人)	85 人 (22 人)	76 人 (22 人)	
利用者1人あたりの一般財源投入額 ①÷②	945,100 円	823,883 円	841,593 円	

※「利用者数②」は、1年間に在籍した訓練生数

() の人数は、利用者数のうち2年生の人数のうち数